

地域学科 地域創造コース

募集予定

10人

わたしの
AO入試
(現 総合型選抜)

地元を盛り上げるような経験や知識を身に付けたい

実家が豊岡市で出石そばの店を営んでいます。幼い頃からそばを打つ祖父や父の姿を見て「自分も継ごう」と考えていました。しかし、豊岡市にお客さんが来てくれなければお店の繁盛にはつながりません。実家の店のことだけでなく、地域全体が盛り上がるような視点を持たないといけないと気づき、将来は地元の観光やまちづくりに携わりたいと思うようになりました。高校2年の夏休みに、学校主催の大学見学ツアーで鳥大を訪れ、「ここは自分の将来に役立つ経験や知識が得られる場所だ」と直感し、第一志望に決めました。AO入試も視野に入れて試験対策を始めました。文章を書くのが苦手だったので、小論文の練習には特に早めに取りかかりました。

早めの対策と継続が自信につながる！

AO入試は早めの対策がカギとなります。継続して準備していくことで「どんな問題が出て大丈夫」と自信をつけることができました。面接では出願書類の丸暗記はオススメしません。どんな質問をされてもスムーズに対応できるよう、いろいろな先生に練習相手になってもらいました。グループディスカッションでは相手の意見をしっかり聞くことを意識して、人の意見を否定せずに「こういうこと(自分のアイデア)を足したらどうでしょうか」と関連づけて話をするように心がけました。私は、AO入試で入ったことで、大学時代に学びたいことをより明確に意識できたように思います。AO入試への挑戦から、夢への一歩が始まります。

4年

なかしま りょう
中嶋 亮さん

兵庫県立出石高等学校出身

MY FAVORITE TOTTORI

「鳥取は何もない」は大間違い！

地元の友達に「鳥取に遊びにきて」と言うと、「何もない」と言われますが、それは大きな間違い。八頭町の大江ノ郷や倉吉市、大山など、楽しいところがいっぱいあります。

全文はWebで！



第2次選考

選抜のポイント、面接・論文等の出題例等

- 2020年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科・コースの募集単位別にポイントや出題例を示したものです。
- 2021年度総合型選抜が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

全体を通して
求める力

自らの地域の発展に貢献できるキーパーソンに成長するための、地域の諸問題への高い関心や行動力、あるいは問題解決に取り組むユニークな発想力とリーダーシップなどが求められます。

スクーリング	講師(1名)が「地域の記憶」についての講義(約75分)を行い、その後、受験者との質疑応答(約15分)を行いました。
課題論文	スクーリングの内容に関連した設問(2問)に90分で解答するものでした。設問の内容は、スクーリングで説明された地域の記憶をめぐる課題を、その順機能と逆機能の側面に着目しながら、スクーリング内容を要約するもの(400字以内)と、これからの地域づくりに関して過去の記憶が果たす意味を、住民/企業/行政の役割の違いに着目しながら論述するものでした(600字以内)。
グループディスカッション	ワールドカフェ方式を採用し、受験者は5名ずつ4グループに分かれて1ラウンドを20分間とした検討を行い、メンバーを入れ替えながら4ラウンドの討論を繰り返して、議論を深めました。テーマはスクーリングの内容を踏まえたもので、ラウンド毎に変更しました。
個人面接	3名の面接官による、1人あたり約20分の面接を行いました。

●選抜方法と求める能力の関連

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性・協働性	創造性
2次(書類審査)	○	○	○	○	○
2次(スクーリング)	○	○	○	○	○
2次(課題論文)	○	○	○	○	○
2次(グループディスカッション)	○	○	○	○	○
2次(面接)	○	○	○	○	○